

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島空港ビルディング株式会社 広島空港ターミナルビル

(2) 事業所の所在地

三原市本郷町善入寺64番31

(3) 業種

貸事務所業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成\_\_22\_\_年度を基準年度とし、平成\_\_24\_\_年度から平成\_\_27\_\_年度までの\_\_4\_\_年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成27年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2	4,869	4,570 6.0	4,747 3.0	5,317 (9.0)	4,223 13.0	4,035 17.0	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,869	4,570 6.0	4,747 3.0	5,317 (9.0)	4,223 13.0	4,035 17.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	省エネタイプの空調及び高効率チラーへの更改を終了。高効率照明器具・ランプに順次更新を行っており、排出量は減となった。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	エネルギー消費量の原油換算値で対前年比97%となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房設定温度の管理</li> <li>・高効率省エネランプ、灯具への更改</li> <li>・休憩時間の消灯徹底</li> <li>・空調更新 高効率チラーへの更改終了。</li> </ul>
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	省エネ推進活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下、トイレ事務所室内に照明節電の呼びかけ表示</li> <li>・出発便がない時間帯の出発ロビー及び搭乗待合室の消灯</li> <li>・館内クールビズの実施</li> <li>・PCを使用しない時間帯はスリープ状態にする事を徹底。</li> </ul>
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。